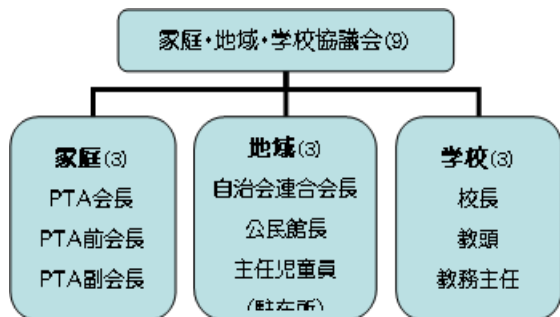


1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



※地域コーディネーター（4名）

清水東公民館主事、清水東自治会連合会長

菅笠保存会代表、三留生産組合代表

(2) 協議会の内容

①開催回数

年間3回

②開催日程

第1回（6月）第2回（11月）第3回（2月）

③協議内容

- ・地域学習・体験学習の進め方について
- ・家庭、地域、学校の連携強化について
- ・学校評価を生かした教育活動の推進に向けて
- ・通学路の安全について

(3) 協議会における成果と課題

P T Aによる安全点検を踏まえて通学路の安全対策について話し合った。樹木の枝打ちや草刈りなどの安全対策について共通理解を図ることができた。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

身近な地域の伝統産業や歴史・文化を学び体験すること、地域の人たちとの交流を深めることを通して、清水地区さらにはふるさと福井に誇りと愛着をもつ。

(2) 活動の実際

①「地域の特産物について、体験を通して学んだことを伝えよう」

地域の農産物直売所「膳野菜」を見学し、学校がある三留町から野菜がたくさん出荷されていることに気づいた。出荷されている方のビニールハウスを見学するとともに、葉物野菜の栽培体験を行った。とれた野菜の出荷までは叶わなかったが、「新ちゃん味噌」作業場での味噌作り体験も併せて、地域の特産物を広め、活性化したいという地域の方の想いを感じ取ることができた。調べたことは新聞にまとめ、公民館に掲示した。



②「地域の伝統と

自然環境を守る地域の人々の思いを伝えよう」

地域の生産組合の協力を得て、手作業での昔ながらの稲作を体験した。水田にいる生き物やビオトープ見学を通して地域の環境にも興味をもった。体験したことをiPadで記録し、保護者や地域の方を招いた東っ子フェスタで発表した。また、菅笠づくりも体験し、地域の伝統を守ることの大切さに気づいた。

(様式3)

③「清水東の歴史パンフレットを作ろう」

各自がそれぞれの地区の文化財、旧跡等を写真などでまとめ、紹介し合った。また公民館の資料を読んだり、iPadで「しみずペディア」を見たり、清水地区の郷土資料館を見学したり、地域の方に話を聞いたりして地域学習を進めた。調べたことは、歴史パンフレットにまとめ公民館に置いてもらった。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・ 体験活動に伴うゲストティーチャーの依頼と連絡調整
- ・ 地域学習における企画・立案・運営における助言

(4) 特に工夫した事項

- ・ 体験活動や見学の場で児童が地域の方と交流する機会をもてるようにした。
- ・ 活動毎に児童が目標に沿って振り返りを行い、次の活動への見通しがもてるようにした。

(5) 成果と課題

- ・ 体験活動や見学を通して、地域の人とも親しく交流し、その想いに触れることで、ふるさとへの愛着が深まった。
- ・ 各学年の体験活動や目標を再吟味し、無理なく学習が進められるようカリキュラム編成を工夫する必要がある。